



生産拠点を構えずに海外進出したい平安製作所と、日本企業の高い技術力を吸収して受注拡大を狙うパミンドの思惑が一

## 平安製作所

【大津】平安製作所（滋賀県高島市、高橋鉄次社長、0740・27・1271）は、9月中にもインドネシアの自動車部品メーカーのパミンド（ジャカルタ市）と技術供与を軸に業務提携する。まず駆動系部品のドライブシャフトの生産技術をライセンス提供する。2年以内に出資も検討する。パミンドを拠点に、東南アジアへ進出する日系自動車メーカーに部品を供給する狙い。業務提携を足掛かりに海外事業を本格化し、2年後に海外売上高で年2億円を目指す。

## 駆動系部品を技術供与

# インドネシア社と提携

## 自動車・航空機

致した。平安製作所はドライブシャフトをプレス加工で一体成形する技術を提供する。パミンドとの協業で同製品の生産量は2年後に、現状比2倍の年産100万個に増加する見通しだ。

平安製作所の技術者や営業担当をパミンドに派遣。生産技術とともに、品質管理を含む現場改善や生産ラインの設計など

インドネシア企業に技術供与するドライブシャフト

も支援する。営業担当はVA（価値分析）提案の手法などを指導する。同時に日本での技術研修も行う。

また、検討するパミンドへの出資は資本関係の構築で両社の結びつきを強め、技術流出のリスクも軽減させる。パミンド

は自動車や2輪車向け部品を主力とする中堅メーカーで、2012年の売上高は約42億円。平安製作所はインドネシアに進出する日系自動車メーカー2社に対し、パミンドを通じて部品供給する了承も得た。東南アジアではASEAN自由貿易地域（AFTA）に伴い、域内生産の部品を一定割合使うと関税が優遇されることから、日系自動車メーカーは部品の現地調達を推進。このため平安製作所も現地進出を検討したが、大規模投資によるリスクが大きいと判断。パミンドと協業することにした。